



九大病院だより

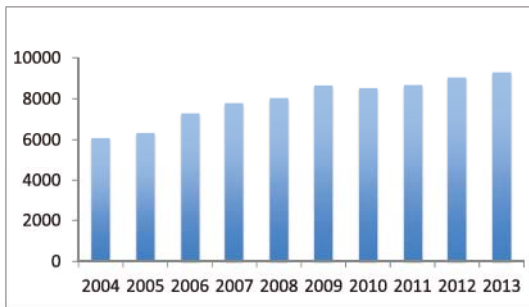
九州大学病院 広報委員会発行

■ 周術期支援センター・周術期口腔ケアセンターの開設

手術を受ける患者さんに、安全かつ円滑に手術前後の時期(周術期)を過ごしてもらうため、北棟2階に周術期支援センターを、北棟4階に周術期口腔ケアセンターを新たに開設しました。

周術期支援センター開設の背景

九州大学病院では、昨年1年間で9,000件以上もの手術が行われました。この数は年々増加し、安全で効率的な手術前後の管理(周術期管理)がより一層重要となっています。近年、医師や看護師など多職種が連携して周術期管理の質の向上を目指す、「周術期管理チーム」構想が日本麻酔科学会を中心に進んでいます。九州大学病院ではこの構想をもとに「周術期支援センター」を開設しました。



九州大学病院の手術件数の推移
2013年 約9,000件 (10年間で1.5倍に増加)

周術期支援センター設置の意義

患者さんの全身状態は周術期の安全維持に非常に大きな意味を持っています。周術期支援センターでは、麻酔科医が入院前に診察を行い、全身状態を把握します。手術に支障となる問題点があれば、どちらの治療を優先すべきかどうか判断し、周術期の安全性を高めます。専任看護師は身体的精神的評価と麻酔・手術のオリエンテーションを行い、不安の軽減に努めます。また、「周術期口腔ケアセンター」と密接に連携し、口腔ケアを確実に行って周術期感染症の減少に努めます。手術前に中止すべき薬剤の確認を薬剤師が行い、確認もれによる手術中止や延期を防ぎます。このように患者さんを中心として、外科系医師、麻酔科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線部、事務などさまざまな職種が密に連携をとり協力して患者さんの支援を進めていきます。

周術期支援センターのイメージ



現在、限られた診療科の患者さんを対象としていますが、将来はすべての外科系診療科での手術患者と、化学療法・放射線療法施行患者を対象とすることを視野にいれています。

周術期口腔ケアセンターとは

周術期とは入院・手術・回復からなる治療前後を含めた一連の期間を示しています。この期間に口の中が不潔だと、手術創の感染、誤嚥性*肺炎や多くの合併症が起りますが、手術前後の口腔機能の管理を行えば未然に防ぐことが可能です。そこで、手術、化学療法、放射線治療、移植などの患者さんを中心とした外来・入院期間の口腔ケアを目的に、「周術期口腔ケアセンター」を開設しました。

*食べ物や異物が気管に入ること

周術期口腔ケアセンターでの診療

担当医師が手術予定の患者さんに合わせて、「周術期支援センター」から「周術期口腔ケアセンター」へ依頼します。受診中の患者さんに対して、手術や治療の妨げとなるような歯がないか、X線検査、歯周病検査などの口腔内の術前診査を行います。口腔内は多くの細菌が常在していますので、歯科衛生士が口の中を徹底的に清潔にして感染源を除去します。ぐらぐら動いている歯は、手術中に脱落する危険がありますので、接着剤やマウスピースで固定します。また、必要に応じて一般歯科・口腔外科の治療も行います。

手術後も、一連の治療が終了するまで病棟への往診や退院後の外来通院を含めて、一貫した口腔ケアを行っています。

一般の患者さんでも、同様に口腔ケアを行っていますので、主治医や看護師に相談の上、遠慮なく受診して下さい。



▶▶▶ 診療科のご案内 ①

肝臓・膵臓・胆道内科

肝臓は、体に必要な蛋白質を合成したり、毒素を分解したりするとともに、消化に役立つ胆汁を産生する臓器です。胆汁は胆嚢・胆管などの胆道を経て膵臓からの膵液とともに十二指腸へ分泌されます。膵臓はインスリンなどの重要なホルモンも分泌します。これらの重要な臓器が病気になれば、私たちが治療を行います。劇症肝炎や重症急性膵炎など極めて重篤な症例も、全身状態を管理しながら積極的に治療しています。この領域には、肝細胞癌、胆管癌、膵癌、膵神経内分泌腫瘍などの腫瘍が発生します。肝臓に生じた場合には、肝臓の能力と腫瘍の径・個数を考慮した上で、外科手術や肝動脈化学塞栓療法(TACE)、ラジオ波焼灼術(RFA)などを行います。膵臓・胆道に生じた場合、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)や超音波内視鏡(EUS)によって腫瘍の性質や広がり进行评估します。手術が難しい場合も少なくありませんが、胆管・十二指腸ステント挿入などにより患者さんをサポートしながら、さまざまな治験などを含めて経験豊富な専門医が症例に応じた化学療法を行っています。

肝臓・膵臓・胆道内科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/naika/06/index.html>



▶▶▶ 診療科のご案内 ②

小児外科、成育外科、小腸移植外科 —成育外科としての小児外科—

小児外科をわかりやすく説明すると「小児の一般外科」です。対象となる臓器は胸腹部全般の呼吸器・消化器・泌尿生殖器・皮膚軟部組織などです。脳を含む頭部、心大血管・四肢と筋骨格以外のすべての臓器が治療対象となる総合外科で、当科では肝臓・小腸の臓器移植も行っています。

対象年齢は胎児から16歳未満(海外では18歳まで)ですが、小児外科医療の進歩により、患者さんの生命予後は格段に向上し長期生存が当たり前の時代となりました。治療後の生活の質も重視されるようになり、当科でも傷の残らない手術、腹腔鏡・胸腔鏡手術や従来の皺を利用した皮膚切開による手術に積極的に取り組んでいます。一方で長期的な合併症の発生もあるため、成年に達しても小児外科での診療継続、あるいは関連診療科との連携が必要になることもあります。このように小児外科医療は病児が成長し社会にでて次の世代を生み出すまでの「成育外科」としての側面をもつようになりつつあります。少子高齢化のわが国では生まれる貴重児の中の病児の外科治療にあたる小児外科は、今後ますますその重要性和責任が増してくるものと考えられます。

小児外科、成育外科、小腸移植外科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/geka/10/index.html>



室温30度以上での新生児の手術

■連載 メディカルスタッフを紹介します[14]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

診療放射線技師

現代の医療においてX線撮影やMRI、超音波検査などの画像診断や放射線治療などの放射線診療は、なくてはならないものです。その放射線診療に従事している専門的なメディカルスタッフが診療放射線技師です。私たちはつねに最先端の医療技術を学び、高度な放射線関連機器を駆使して、信頼のおける画像情報の提供や精度の高い放射線治療を行っています。また放射線被ばくの低減をはかり、安全で安心な放射線診療が提供できるように努めています。



郷土の民謡「黒田節」体操で ロコモ予防を！

メタボリックシンドロームと並び、加齢や骨・関節の疾患で運動機能が低下するロコモティブシンドローム(運動器症候群)も今や国民病と言われ、その予防対策が迫られています。

九州大学病院リハビリテーション部が提唱するロコモ予防運動「黒田節体操」が、この度NHK福岡放送「九州沖縄ニュース いまココ中継」(9月8日18:10-18:20)で生中継されました。

同部が推進するロコモ予防運動「黒田節体操」は、九州発のアイドルグループLinQ(リンク)の歌う黒田節をテーマに、ゆっくりとした動きで足腰を鍛え、ロコモを予防する体操です。

放送は、健康運動指導士を目指す学生が模範演技を披露。NHKアナウンサー・新井秀和さんとリハビリテーション部・高杉紳一郎診療准教授が、「二の足」「むだ足」などユニークで覚えやすい名前の付いた動きを解説し、運動のポイントや若いうちから足腰を鍛えることの重要性について説明しました。今後、「LinQ ロコモ体操黒田節バージョン」として改良を加え、イベントなどで広めていくそうです。

寝たきりを予防するためにも、なじみ深い郷土の民謡「黒田節」を使った体操を今日から始めてみませんか。



お問い合わせ先：九州大学病院リハビリテーション部
TEL：092-642-5862

九州大学病院別府病院 のご紹介

放射線科

放射線科では、九州大学病院から派遣の4名の放射線科医、5名の診療放射線技師で、さまざまな疾患の画像診断、画像介入下低侵襲性治療(IVR)、消化管腫瘍に対する内視鏡検査治療、高精度放射線治療など病気に合わせた放射線診療を行っています。

特に、IVRでは、肝細胞がんに対するマイクロコバルーンカテーテルという風船が先端に付属した特殊カテーテルを用いた血管内治療を、九州はもとより日本全国においても、数多く施行しています。従来の血管内治療から良好な治療成績を収め、国内、海外学会で、有効性に関する発表を多数行っています。2014年4月に開催された日本医学放射線学会総会で、Cypos Bronz 賞を受賞し、本治療に対して学会からの一定の評価を得て、ますますの発展普及に尽力しています。

分院ですが、つねに九州大学病院の一員であることを念頭におき、頼って来られた患者さんに満足いただけるような体に優しい診断、治療を提供していきます。



■外来案内ボランティア募集について

あなたのやさしさを九州大学病院で活かしませんか。九州大学病院のボランティアは、あなたの「できる時間」に「できる活動」を通して患者さんの「心」と「体」をサポートし、心豊かにも歩むことを目指しています。

現在、外来案内ボランティアを募集しています。患者さんのお役に立ちたい、人と人とのふれあいをもちたいとお考えの方で、患者さんのプライバシーを守ってくれる仲間をお待ちしています。

また、ボランティアに興味があり、活動の様子を見学したい方も、お気軽にお問い合わせください。



【外来案内ボランティアの活動内容】

自動再来受付機の操作説明、車いすを利用する患者さんの介助、カートやベビーカーの貸出、診療科へのご案内など

【活動日時】

毎週月曜日から金曜日までの9:00-12:00
(時間帯などについてはご相談ください)

【活動場所】

九州大学病院 外来診療棟1階

【お問い合わせ先】

九州大学病院ボランティア委員会
ボランティア・コーディネータ 姫島

TEL 090-8660-8538

九州大学病院患者サービス課医事係

TEL 092-642-5981・5172

e-mail byniji@jimu.kyushu-u.ac.jp

外来診療日一覧

- 初診受付時間 8:30-11:00(窓口)
- 再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)
- 電話予約受付時間 14:00-16:00
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00
- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)

今号の一覧表は、12月1日付変更の情報も掲載されています

■外来診療棟 (専門の疾患によって曜日が異なる場合もあります)

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 092-642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 092-642-5388	月・水・金 ※	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 092-642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・膵臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 092-642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	先端工医学診療部 TEL 092-642-5993	月・水・金	月・水・金
	産科(再診時のみ) TEL 092-642-5900 婦人科 TEL 092-642-5409	月一金 ※	月一金
4階/東第2	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 092-642-5719	月・火・水・金	月一金
	再生歯科・インプラントセンター TEL 092-642-6361	月一金	月一金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 092-642-5302	月一金 ※	月一金
	先端分子・細胞治療科 TEL 092-642-5302, 5996	月一金	月一金
3階/東	ハートセンター TEL 092-642-5371 TEL 092-642-5565 ①循環器内科 ②血液・腫瘍内科(心臓血管グループ) ③心臓血管外科	①月一木 ②火・水・金 ③月・水・木 ※①と②	①月・水・金 ②火一木 ③火・木
	皮膚科 TEL 092-642-5597	月・水・金 ※	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 092-642-5681	火・木	月・水・金
	形成外科 TEL 092-642-5510	月・水・金	月・水・金

階/受付	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 092-642-5349	火・水・金	月・水
	脳神経外科 TEL 092-642-5533	月・水・金 ※	月・水・金
2階/西第2	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 092-642-5615	火・木	月・水・金
	精神科神経科 TEL 092-642-5640 子どものこころの診療部 TEL 092-642-5642	火・木	月一金
2階/東	眼科 TEL 092-642-5660	月・水・金	月一金
	整形外科 TEL 092-642-5504	月・水・金 ※	月一金
1階/西	放射線科 TEL 092-642-5705	月・水・金 放射線/ヨード治療は要予約	月一金
	総合診療科 TEL 092-642-5300	月一金	月一金

棟	階	診療施設等	電話番号	
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来(月一金)	092-641-1151	
		助産師外来(月一金)	092-642-5900	
	3階	糖尿病フットケア外来(水・金)	092-642-5302	
		リンパ浮腫外来(月・木)	092-642-5409(産) 092-642-5615(泌)	
	2階	造血細胞移植後患者フォローアップ外来(水)	092-642-5244	
		外来化学療法室	092-642-5125	
	北棟	4階	がん相談支援センター・緩和ケア	092-642-5200
			総合案内	092-642-6270
			外来受付	092-642-5138
			入院受付	092-642-5150
			公費相談窓口	092-642-5736
			支払窓口	092-642-5169
患者相談支援室			092-642-5512	
医療連携センター			092-642-5165	
社会福祉相談窓口			092-642-5167	
在宅療養支援室			092-642-5185	
ARO 次世代医療センター			092-642-5858	
睡眠時無呼吸センター(月一金)			092-642-5988	
5階	禁煙外来(月一金)	092-642-5300		
	粒子線がん治療外来(火・木)	092-642-5705		
	透析外来(火・水)	092-642-5021		
	トランジショナルケア外来(月)	092-642-5430		
4階	デンタル・マキシロフェイシャルセンター(月一金)	092-642-6450		
	周術期口腔ケアセンター(月一金)	092-642-6509		

棟	階	診療施設等	電話番号
北棟	2階	難病情報センター	092-643-1379 092-643-8292
		福岡市認知症疾患医療センター	092-642-6235
		周術期支援センター(月一金)	092-642-5546
南棟	4階	腹膜透析外来(火一金)	092-642-5841 092-642-5268
	2階	栄養相談室	092-642-5180
	1階	時間外受付 リハビリテーション受付	092-642-5163 092-642-5862

■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 092-642-5430	月一金	月一金
	小児外科、成育外科、小腸移植外科 TEL 092-642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 092-642-5421	月一金	金
	小児歯科・スベリアルニース歯科 TEL 092-642-6465	月一金	月一金
	矯正歯科 TEL 092-642-6460	月一金	月一金
	全身管理歯科 TEL 092-642-6483	月一金	月一金
5階/東	顎口腔外科 TEL 092-642-6445	月一金	月一金
	顔面口腔外科 TEL 092-642-6450	月一金	月一金
	歯科麻酔科 TEL 092-642-6479	月一金	月一金
4階/西	歯周病科 TEL 092-642-6425	月一金	月一金
	歯内治療科 TEL 092-642-6430	月一金	月一金
	咬合補綴科 TEL 092-642-6435	月一金	月一金
4階/東	義歯補綴科 TEL 092-642-6440	月一金	月一金
	歯科総合予診 TEL 092-642-6500	月一金	月一金
	口腔画像診断科 TEL 092-642-6471	月一金	月一金
4階/東	口腔総合診療科 TEL 092-642-6490	月一金	月一金

◎赤色の曜日は予約が必要です。

◎再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,240円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめ願います。

※は紹介状が必要となります。

平成26年12月現在

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。

外来患者さんへ

◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進